

第 46 回「新聞」(2014/6/21)

場所：Cafe ALBA青山

司会、文責：野田

参加者：13 人

要約：なぜ新聞を読むのか、政治的な中立を新聞が保てるか、保つべきか、他のメディアとの違いは何かについて対話しました。

内容：

1. お題の説明

- ・ 五大紙（読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞、産経新聞）を例に、新聞について取り上げます。2005年を境に新聞の発行部数は減少を辿っています。

2. 最初に新聞についての問いを挙げてもらいました。

- ・ なぜ種類がいろいろあるのか。どうやって選ぶか。
- ・ どこから読むか。前から、後ろから、気になる面から。
- ・ 政府の政策に関して、政府寄りの主張を行ったり、批判を行ったりすることがある。新聞の役目は主張することか、中立であることか。
- ・ 他のメディアとの違い、新聞をとることはいいことか
- ・ なぜ世の中のことを知らなければいけないのか。

3. 他のメディアと比較したときの新聞の特性

- ・ 他のメディアと比較すると、ネットはいくらでもアクセス可能で便利である。一方新聞はニュース以外の雑多な情報も載っている。
- ・ インターネットやスマホアプリ、テレビニュースに対して新聞は速報性が落ちる。しかし、背景や掘り下げ、解説、問題の俯瞰は新聞の方が優れている。ネットは知っていることをより詳しく知るために調べるのに役立つが、新聞は知らないことを教えてくれる。新書などの書籍の方が、新聞より更に専門的で詳しいが、更に遅い。
- ・ 紙の新聞は紙面全体をさっと一瞥して、その中で気になったものを読む。一覧性に優れている。
- ・ タブレットでも技術が進歩すれば新聞並に一覧性が優れるようになるだろう。
- ・ 新聞には複数の考え方が載っており、その中から選択する際に、自分を疑うことにつながる。
- ・ 新聞は多様なコンテンツを目にするメディアであるため、自分の意見と違うこと、自分には間違っていると思われることを目にする可能性がある。自分の意見と違うことや、自分には間違っていると思われることを読むこと自身が面白く、勉強になる。
- ・ 新聞にはスポーツ欄や家庭欄があり、世の中の縮図のようなものである。
- ・ 新聞は毎日配布されるので、読む習慣が出来てしまう。

新聞をとったことが殆どないネット派の参加者に対して、新聞をとっている参加者は新聞のメリットをうまく説明できていませんでした。明確なメリットはないように見えるのが、発行部数の減少に繋がっているのかもしれませんが。なぜ新聞を読むかについて、正しい情報や考え方を得るためという意見と、自分と異なる考えをそもそも知ることが勉強になり、楽しいという意見がありました。

「毎日習慣的に読んでいる新聞について、『なぜ読むのか？』と問い直してみました。その理由は新聞を読まない人には受け入れられない程度のものでしたが、読んでいる人にとっては、改めて読む理由を見出すことが出来たと思います。